



はなのき

神坂小学校だより No.5 2024.7.19



学校の教育目標の具現に向けて

校長 伊藤 博章

新入生2名を迎え、48名でスタートした令和6年度。早いもので、4か月が経とうとしています。ここまで大きな事故もなく、夏休みを迎えることができるのも、ひとえに保護者・地域の皆様のご理解やご協力があったることと心より感謝申し上げます。

さて、神坂小学校の学校の教育目標は、「**かしこく なかよく たくましく**」です。夏休みを前に、この目標について振り返ってみます。

☆「かしこく」

今年度は「自分の考えをもち、伝え合う子」の育成を目指して、毎日の授業や行事を行っています。先日、6年生の家庭科の授業を公開し、神坂小中学校の授業研究会を実施しました。子供たちはグループごとに意欲的に取り組みました。実験結果から自分の考えをまとめ、それをもとに活発に交流できました。他の学年の子供たちも、授業や行事の意見発表で、「〇〇だと思います。わけは～」のように、根拠をもとに自分の意見を伝えようとする姿が増えてきました。



☆「なかよく」

7月に行ったぼかぼか集会のめあては「いろいろな人にぼかぼか言葉・行動、あいさつで気持ちを伝えよう」でした。代表委員と6年生がその達成に向けて、計画や運営をしました。当日は、始めのあいさつや反応、発表の時の声がとても大きく、互いのよさを認め合おうという温かい空気感でいっぱいでした。質問じゃんけんのコーナーでは、高学年の子が低学年の子の目の高さに合わせてしゃがむ姿が見られました。相手を思いやり、自分で考えて行動できる温かさを感じました。



☆「たくましく」

4月のスタートから今日まで、子供たちはたくさんの行事に取り組んできました。どの行事も、自分一人ではできません。自分も仲間も大切な存在です。5年生は「根の上宿泊研修」で、親元を離れて仲間だけで活動する研修を行いました。その行事を成功させようと、事前から学年独自の取組を進めました。一人一役をもち、当日の各活動の中ではそれぞれが主人公となって、満足のいく研修にできました。夏休み明けにもたくさんの行事がありますが、その取組を通して、自己肯定感を向上させ、仲間への感謝の思いを強めていきたいです。それが、人としての魅力や心の強さを育てることにつながると信じています。



いよいよ明日から39日間の夏休みが始まります。夏休みは、自分のやってみたいことや時間をかけてじっくり取り組んでみたいことなど、普段の生活の中ではなかなかできないことに積極的に挑戦してほしいです。それがワクワクした充実した毎日を過ごすことにつながります。子供たちにとって、健康で安全な、そして価値のある夏休みになることを心から願っています。ご協力と見届けを、よろしくお願ひします。